

令和 5 年度

第 3 回 那須町総合教育会議 会議録

那須町教育委員会

令和5年度 第3回那須町総合教育会議録

令和6年2月15日15時30分から、令和5年度第3回那須町総合教育会議が開催され、その結果は次のとおりであります。

1 本会議の出席者は次のとおりであります。

町長部局

町長	平山 幸宏
企画政策課長	鬼澤 努

教育委員会

教育長	平久井好一
教育委員	大森源一郎
教育委員	菊地 昭一
教育委員	菊地 厚子
教育委員	金田裕美子
学校教育課長	佐藤 英樹
生涯学習課長	島村 育男
こども未来課長	大森 貴之
学校教育課長補佐	赤羽根初美

1 本会議の議事は次のとおりであります。

報告事項

- (1) 那須町いじめの重大事態発生に関する報告について
- (2) その他

協議事項

- (1) 那須町における「子どもの第三の居場所」について
- (2) その他

1 開 会

佐藤学校教育課長

定刻となりましたので、ただ今より令和5年度第3回那須町総合教育会議を開催いたします。はじめに、平山町長よりご挨拶をお願いいたします。

2 あいさつ（平山町長）

皆さん、こんにちは。

教育委員の皆様には日頃から、本町の教育行政の推進にご尽力を賜り感謝を申し上げます。

また、本日は令和5年度第3回那須町総合教育会議を開催したところ、ご多用にもかかわらず、ご出席をいただき誠にありがとうございます。

元旦にありました石川県能登半島沖地震におきましてお祈り申し上げると共に、那須町行政としても職員を派遣しております。先日、第一弾として派遣した職員が町へ戻り、報告を頂いたところでございます。やはり復興にはまだ時間が必要な状況ではありますが、厳しい寒さの中でも皆さん頑張っておられるとのことでした。被災されている方々が特に大変なことが、生きるための水の確保だということで、健康面を含めトイレでの衛生面に非常に苦慮しているということでした。これから暑くなることで感染などの問題にも繋がることを考えると、子どもたちがどんな思いで生活しているのか非常に懸念しております。現在、町職員が派遣されている被災地は穴水町でございますが、被災地から子どもたちへの支援等の要望がありましたら、皆様方からご助言等いただきながらいち早く対応して参りたいと思っております。よろしくお願いいたします。

那須町は、今年、町政施行70周年を迎える節目の年となります。町民が誇りと愛着を深め、魅力ある町を未来に残すため、記念事業の開催を予定しておりますのでご協力をお願いします。そして子育て世代の支援や経済再生のための施策を着実に推進する所存でございますので、そちらにおいてもよろしくお願いいたします。

本日の会議につきましては、那須町いじめの重大事態発生に関する報告と、那須町における「子どもの第三の居場所」について忌憚のない意見交換を行いながら、町長部局と教育委員会が共通の認識を持って、那須町の教育をより良い方向に進めていければと思っております。

また、先程話がありましたが野木町教育委員会の皆様、那須町に2日間視察に来ていただいているということですので、どうぞよろしくお願いいたします。

3 議事録の承認

佐藤学校教育課長

それでは、報告事項に移らせていただきます。

那須町総合教育会議設置要綱第4条第1項により、町長を議長として進めさせていただきます。

議長：平山町長

それでは、本会議を主宰する立場から議長を務めさせていただきます。
円滑な議事運営に努めたいと思いますので、ご協力をお願いいたします。
はじめに、議事録の承認について学校教育課長より説明をお願いします。

佐藤学校教育課長

総合教育会議の会議録は、那須町総合教育会議設置要綱第7条において、公表することになっております。

今年度開催の第1回及び第2回の総合教育会議の会議録について説明させていただき、公表について承認をいただきたくお願いいたします。

会議録に沿って説明

議長：平山町長

それでは議事録の説明について、委員の皆さんからご意見、ご質問などがありましたら、お願いいたします。

鬼澤企画政策課長

表紙に会議録とありますが、公表することを考えると議事録であれば議事録、会議録なら会議録と統一したほうが良いと思いました。

佐藤学校教育課長

表紙と内容が異なるということですが、会議録として統一して公表したいと思います。

議長：平山町長

貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございました。それでは、会議録について承認をいただけますか。

全出席者

承認

4 報告事項

議長：平山町長

では次に、報告事項に移らせていただきます。(1) 那須町いじめの重大事態発生に関する報告について学校教育課より説明願います。

佐藤学校教育課長

資料に沿って説明

議長：平山町長

それでは、ご意見やご質問等がございましたら、お願いいたします。

全出席者

ありません。

議長：平山町長

こちらは報告事項となりますので、ご承知おきください。

次に報告事項（２）その他について、各課より何かありましたら、説明をお願いします。

各課長

ありません。

5 協議事項

議長：平山町長

それでは協議事項に移らせていただきます。協議事項（１）那須町における「子どもの第三の居場所」について、所管課でありますこども未来課長より説明をさせていただいた後に、皆さまとの意見交換をさせていただきますので、忌憚のないご意見をお願いします。

大森こども未来課長

資料に沿って説明

議長：平山町長

那須町における「子どもの第三の居場所」について、町としても民間事業者に提案していただけたことは非常に有難いと思います。預ける保護者の方も負担が軽減されるものと思っております。保護者や子どもの多様なニーズに応じた子どもの第三の居場所については、那須町としても旧大同保育園を利用する形で検討していきたいと思います。また、旧大同保育園に施設が出来ることで、休日に利用される方や地域の方々も集いの場所として利用しやすいのではないかと思います。日本財団での助成金審査が通る前提での説明となりますが、皆さまからご意見、ご質問等ございますか。

菊地（厚）委員

支援センターだけでは支援が届かない家庭があり、もどかしさを感じていたためこの提案はすばらしいと感じました。その中でどういった方がスタッフとして携わり、どのくらいの人数がいるか詳しく教えて頂けたらと思います。

大森こども未来課長

現在の計画段階での人数ですが、事業規模が大きいため時間帯を分けてシフト制を検討しております。常勤としての正規職員が2名、その他にアルバイトが7名の合計9名で考えているとのことですよ。

大森委員

那須町にも色々な施設がありますが、経年劣化等の問題もあるので、このように一つに集約して那須町の目玉となるような施設あったら良いと議論したことがあると思います。教育立町として那須町を教育で盛り上げていきたいという点からも、とても良い提案だと思いましたが、この事業規模で運営をして採算があるのか、また、実際に9名の職員だけで運営することが出来るか疑問ですよ。

いくつか質問ですが、旧大同保育園は町有地でしょうか、また事業提案事業者は、子どもの第三の居場所づくりの実績はありますか。

大森こども未来課長

旧大同保育園は町有地です。事業提案事業者は昨年4月に那須塩原市の子どもの第三の居場所を開所しており、他事業として幼稚園や保育園等の運営を行っております。

議長：平山町長

ここまでの経緯として担当課であるこども未来課と民間事業者で詳細について情報共有をしております。その中で施設の改修費用については日本財団からの助成金の対象となり、さらに3年間についても月最高120万円が日本財団から助成されるものです。3年後には採算ベースに乗せていく検討をしておりますが、町としては採算ベースに至らない場合についても視野に入れて検討するべきと思っています。

今後は那須町の人口、そして子どもが減っていく中で、こうして民間事業者から事業の提案があることは大変有難いことだと思っております。今回の事業者においては資料にある実績があり、人員確保等の懸念はありますが、那須塩原市にある幼稚園やスクールと連携することで職員の往来が可能になり、知識のある経験者が入ることからも保護者が安心して子どもを預けられる場所になると思います。

菊地（昭）委員

この事業者は過去に学童クラブを経営していたのでしょうか。

大森こども未来課長

保護者会で運営していた高久小学校の「学童保育にここクラブ」を運営する上での課題について相談しており、職員の確保等運営改善がなされています。また、こちらの事業者は大学との連携があり学生アルバイトを確保しやすいとのことでした。

菊地（昭）委員

働いている保護者からすると休日預かりは大変有難く、場所についてもとても魅力的です。新しい試みから子どもたちの人間関係にも良い影響を与えてくれると良いですね。

大森こども未来課長

この事業者の強みとして作業療法士や社会福祉士、教員免許を取得している方々がスタッフであるため、問題発生時には即時対応が可能となります。また、学童の運営に対しても適切な助言をしてくれることから非常に心強いです。

議長：平山町長

那須町は観光地としての企業が多く、そこで働いている方もお子さんを預けることがあると思いますので、そういった企業の皆さまにもお声がけをして支援していただくことも検討しております。支え合うことで那須町の観光地で働く子育て世代が増え、人口を増やすことにも繋がると考えておりますのでご了解いただけたら幸いです。

菊地（昭）委員

日本財団助成金の審査とはこういった内容のものですか。

大森こども未来課長

書類審査と事業内容の金銭的な計画、町としての具体的な協力内容等についてです。

大森委員

現在、旧大同保育園を利用してゲートボールが行われている日がありますが、そちらとの関係はどうなるのでしょうか。

大森こども未来課長

今後説明会を開催する予定ですが、地域の方々の大切な交流の場所であるため、地域住民の皆さんと一緒に運営出来るよう検討しているところです。その際にトイレの問題等も解決する方向で考えています。

菊地（厚）委員

子どもの問題、そして家庭の問題としてあるのが貧困や仕事など様々な事情から保護者が送迎できないという事例です。施設は出来たけれど、本当に利用したい子どもたちが使えるように、利用しやすいように、送迎の面でのフォローを町が行うべきだと思います。ファミサポの利用でも良いと思いますが、料金が発生してしまうので、送迎支援についても検討し、誰もが利用しやすく通いやすい体制を整えて欲しいと思いました。

平久井教育長

那須町の一番の課題は行きたくても行けない、公共機関が整備されていないということですよね。

議長：平山町長

那須町はかなりエリアが広いためご相談しながら検討していきたいと思います。

金田委員

事業内容は本当に素晴らしいと思います。

この施設機能を採択して運営をすることが出来たら、全ての機能を実施することになりますか。また、旧大同保育園は施設の的にコンパクトですが受け入れは何名ほどを想定しているのでしょうか。

大森こども未来課長

最終目標として全ての施設機能を実施する方向ですが、まずは学童等の運営で基盤が出来てからになると思います。その中でも学童や困窮家庭の支援、フリースクールをメインに運営を検討しております。宿泊も出来る施設になっていますので、ショートステイ等の対応も考えているところです。

初年度は、現在田代友愛小学校の「室野井もりぞうクラブ」の子どもたちの受け入れを想定しており、20名ほどで検討しております。

金田委員

正規職員についてですが、臨床心理士や精神保健福祉士などの資格を有している方はいるのでしょうか。

大森こども未来課長

現在確保出来ている職員は、小学校や中学校の教員免許や幼稚園教諭、作業療法士、調理師免許をお持ちの方です。心理面での免許を持っている方で常勤の職員はおりません。

金田委員

心理面での専門家の先生はやはり常勤でお願いしたいです。フリースクールとして運営する場合、そこは外してはならない、そこがないと意味がないと私は考えております。常勤として最低1名でも良いので、ソーシャルワーカーの経験がある方や、学生であれば専門性のある学科を選考されている方を数名入れて頂けると、より良いのではないかと思います。

いじめ問題等がある中で、精神保健福祉士が発達支援クラスに常駐し作業療法士と一緒に支援している事例があるのですが、民間企業であるからこそ、そのサービスについては特化して欲しいと思います。また、この事業を運営するのであれば持続可能でなければ意味がなく、途中で投げ出すようなことがあっては決してならないと思いました。今は子育て支援に特化している複合施設であっても、今後少子化は避けては通れない事態になってくるため、世代間交流も交えながら、お年寄りの方達の「第三の居場所」としてもシフトできるようなフレキシブルな内容の持った複合施設になっていくと良いのかなと思っています。

議長：平山町長

今回提案した施設機能を全て運営するのであれば、心理面でサポートできるスタッフを常駐させて欲しいといった要望を事業者に伝えて頂けたらと思います。

大森こども未来課長

分かりました。

金田委員

子育て支援複合施設が出来た場合、町の教育相談室や今まで運営されてきた学童はどういった扱いになってくるのでしょうか。

大森こども未来課長

継続して運営していく方向です。少子化が進む中で、最終的にはこの複合施設を残すというイメージであります。

金田委員

分かりました。

議長：平山町長

子育てをする保護者の想いを優先したいと思っており、その中で保護者の負担軽減にも対応していただけたら行政としては大変有難いと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

他にご意見等ありますでしょうか。

大森委員

事業運営費として、放課後児童クラブ運営委託金を頂けるとのことですが、町としても何らかの支援を考える必要がありますね。民間の学童間での子どもたちの移籍は可能でしょうか。

大森こども未来課長

移籍は可能です。そのため学童に馴染むことができない子どもたちの選択肢が広がると考えています。

議長：平山町長

現状、放課後児童クラブに通えていない子どもたちがいます。少子化は進んでいきますが、今後放課後児童クラブを利用する子どもたちは増えていくと想定して対応して参りたいと思います。

金田委員

最近塾などでも盗撮や性虐待が施設の死角で行われているのを耳にします。講師を採用する際には、そういった適性があるかテストを行う企業もあるので、その点はしっかり見極め、子どもたちに確実な安心安全の場所を提供して欲しいと思います。

大森委員

委託費を負担するということは、監督を怠ってはいけませんね。よろしくお願いします。

議長：平山町長

貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。今後の教育行政に参考にさせていただきます。

次に（２）その他について、各課より何かありましたら説明をお願いします。

各課

ありません。

議長：平山町長

無いようですので、以上で議題に関する協議は終了いたします。

貴重なお時間をいただき、充実した会議となりましたことにお礼を申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

それでは議長の任を解かせていただきます。

6 その他

佐藤学校教育課長

その他について、学校教育課より令和6年度の教育委員会の日程をご説明します。

資料に沿って説明

佐藤学校教育課長

令和6年度教育委員会の日程について、ご質問等ございますか。

全出席者

ありません。

佐藤学校教育課長

その他に皆様から何かありますか。

全出席者

ありません。

7 閉会

佐藤学校教育課長

閉会にあたり、教育委員を代表して平久井教育長よりご挨拶をいただきます。

平久井教育長

今年度3回目の総合教育会議ということで、「第三の居場所」について貴重なご意見をありがとうございました。「子どもは町の宝」と平山町長には日頃から仰っていただきしており、那須町は子育て教育に力を入れています。第三の居場所とは、学校・家庭・地域だと考えております。以前は地域で遊び、遊びを通して成長する上で大切な非認知能力を培い、生きる土台を作っていました。それが今の子どもたちはありませんね。特に那須町は広いため、遠すぎて遊べないという話をよく耳にします。また学童に入るには基準があり、入ることが出来ても宿題等の時間で終わってしまう等、指導者を含め様々な問題があると思います。学童保育の運営についても検討が必要であり、また今後のことを見据えて、子ども教室といった全学年通して子どもたちを預かることの出来る場所が必要だと考えており、子育てに力を入れている町だからこそ、このような施設が必要だと思っていました。旧大同保育園のみではなく、後々には規模を広げて展開していただけたら素晴らしいと思います。保護者が施設を選べるような町になることで、子どもたちの放課後、第三の居場所としての充実という点で進んでいくのではと考えます。

昨年11月に「はなまる学習塾」の高濱代表が那須町のいくつかの旧学校を御視察され、自然豊かな那須町に魅力を感じていただきました。前向きなお返事を期待しているところです

が、本町での事業展開が実現されることになれば那須町にも教育的にも良い刺激となると思っています。

本日は大変お忙しい中ありがとうございました。

佐藤学校教育課長

以上で令和5年度第3回那須町総合教育会議を閉会といたします。

本日はありがとうございました。